



黒島結菜	6
鈴木亜由子	8
栗原康	10
下重暁子	12
浜矩子	14
頭木弘樹	16
尾崎世界観	18
田中幹子	20
真鍋叔郎	22
小松由佳	24
戸田愛	26
芦田愛菜	28
ナターシャ・グジー	30
新藤奈邦子	32
渡部達也	34
斎藤幸平	36
藤井聡太	40

## はじめに

人と人をつなぐメディアであるはずのSNS上では、正義の名のもとにおびただしい数の虚偽妄言が飛び交い、人と人の結び目を壊し続けています。そして、ますます、混乱に拍車をかけています。「ウソも方便」が、「ウソが真実」みたいになって、何が本場で、何がウソかよくわからなくなってしまいました。

その昔、人類は天まで届くような『バベルの塔』を築きました。それが神の怒りに触れて、人間同士の言葉が通じなくなったという物語が旧約聖書に書かれています。

多様な世界の言葉は、時を経て今、中身のない殻だけが膨らんだまるでバブル（泡）のようです。傲慢を増長させた文明は滅びるが、多様性から謙虚さを学ぶ文化は滅びないと言われます。さかのぼれば、世界の言語は一つの言葉からはじまったと言われます。文字も同様です。『戦争と平和』を書いたロシアの文豪トルストイさんは、救いを人間の良心に求め、常に良心に水をやることも重要だと説きました。

「共通の言語」があるのなら、「共通の良心」もありそうです。過去を振り返る「自省」と、正しい判断を導く「良心」こそが、今必要とされる「真実の言葉」なのかもしれません。みなさんいっしょに、もっとたくさん真実の言葉を探す冒険の旅に出てみませんか。



大悟	78
南沙良	80
早川千絵	82
喜納昌吉	84
RYUCHELL	86
沼野恭子	88
平野歩夢	90
高梨沙羅	92
上白石萌歌	94
マイケル・サンデル	96
高嶋ちさ子	98
最澄	100
原田マハ	102
キアヌ・リーブス	104
倉本聰	106
瀬戸内寂聴	108

三省堂神保町本店	42
大野晋	44
金田一秀穂	46
桃田賢斗	48
片桐はいり	50
五木寛之	52
山船晃太郎	54
繩田健悟	56
ジョージ・オーウェル	58
本田望結	60
ひろゆき	62
山崎直子	64
山崎ナオコ	66
西谷修	68
小林幸子	70
鈴木俊貴	72
井上咲楽	74

裸足で歩いて、

地球のパワーを

いただきました。



黒島結菜

1997

女優

連続テレビ小説『ちむどんどん』で主演を務めた黒島結菜さんは、裸足で歩くのが大好きな、野生っぽい人、だそうです。

同番組で共演した上白石萌歌さんが、砂浜や岩場、一般道までどこでも裸足で歩く結菜さんを見てビックリ。それを知ったハリセンボンの近藤春奈さんから「どうして裸足なの？」と聞かれると、「いつも裸足で、地球にじかに触れたいから」、そして沖繩の大地を歩いて「地球のパワーをいただきました」と答えました。足裏のツボが刺激されるのでしょうか。それとも太古の時代、裸足で野山を駆けて狩猟採集していた頃の記憶がまだ脳に保存されているのでしょうか。

地球は大きな電磁石で、場所によって磁場が身体を活性化させたり、心を癒してくれる。パワースポット、というものがあるとされています。「地球のパワーをいただく」って、きっと、どこでもドア（パワースポット）にしてしまっ、結菜さん自身が持つ野生の力なのかもしれません。ちむどんどん（胸がドキドキする）、なんくるナイサー（気にしない）。ますます混迷が深まる現代社会、沖繩の野生のパワーと地球のパワーをいただいて、みんなで元気に乗り切りたいものです。